

令和2年度 行政評価の取組結果（財政局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）				R2年度		R1年度	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度			R4年度予算要求に向けた 施策の方向性		
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	中期 目標	予算額 (千円)	決算額 (千円)		決算額 (千円)	事業 評価	評価の理由		局施策 評価	局施策評価の 理由及び課題
Ⅲ-1-(3)-④ 高度情報社会への対応	1	①	市税クレジット・スマホ収納導入事業	税企画課	近年のキャッシュレス決済の普及・拡大に伴い、多様な納付環境の提供により納税者の利便性の向上を目的として、クレジットカードやスマートフォンアプリを利用した市税の納付方法を導入する。	クレジット・スマホ収納利用率	—	目標 —	実績 収納件数の0.24%	中期 目標 収納件数の1% (R3年度)	12,000	10,418	—	3,825	大変 順調	キャッシュレス社会に対応した多様な納付環境を提供するため、スマホアプリやクレジットカードを利用した新たな納付方法を令和2年度から導入した。ホームページ等での周知を行った結果、目標数値を大幅に上回っており、「大変順調」と判断。	大変 順調	【評価理由】 多様な納付環境を提供するため、新たな納付方法を導入した。利用件数は、目標数値を大幅に上回っており、「大変順調」と判断。 【課題】 操作方法等に関する問い合わせが多いことから、引き続き丁寧な説明に努めながら、更なる利用を促進する。	令和2年度で事業廃止
V-3-(2)-② 公共施設の転活用などの検討	2	①	【施策評価のみ】未利用公共施設の有効活用	財産活用推進課	【施策の内容】各局への未利用公共施設の情報提供や有効活用を調整する。	—	—	目標 —	実績 —	—	—	—	—	—	—	—	順調	【評価理由】 未利用の公共施設について、各局に情報提供を行うことで活用の検討を促すとともに、市有財産利用調整協議会において活用方法の調整を行った。 令和2年度に検討を行った公共施設（山王児童館）は、建物の老朽化が進んでいたため解体し、敷地を八幡東消防団第4分団本部として活用することを決定した。 以上のことから、「順調」と判断。 【課題】 未利用の公共施設は老朽化しているため、耐震基準を満たした転活用可能な施設が少ない。 また、活用先のニーズに適した規模の施設が少ない。	今後も引き続き、未利用の公共施設の転活用可能なものについては、有効活用を図れるよう取り組むとともに、公共施設マネジメントとも連動した有効活用に積極的に取り組む。